

## 広島県中小企業団体中央会 2017年12月分情報連絡一覧表

### 食料品

#### ●食料品

##### 中国醤油醸造協同組合

12月の出荷量は前月比6.0%増加、前年同月比26.3%減少、売上高は前月比4.4%増加、前年同月比26.2%減少となった。対前年同月比減少は、昨年9月～12月、スポット受注による出荷量増加によるものである。

### 木材・木製品

#### ●木材・木製品

##### 広島県木材協同組合連合会

#### <全国>

- ・平成29年11月の全国の住宅着工戸数は84,703戸で前年同月比0.4%減少
- ・季節調整済年率換算値では95.1万戸(前月比1.9%増)
- ・利用関係別では、持家は24,904戸で前年同月比4.2%減少、貸家は37,508戸で前年同月比2.9%減少、分譲住宅は21,882戸で前年同月比8.7%増加
- ・木造住宅の着工数は49,926戸で前年同月比1.4%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で5か月連続の減少

#### <広島>

- ・広島県内の11月の着工戸数は1,924戸で対前年比13.7%増加、このうち持家は525戸で前年比0.8%増加、貸家は962戸で前年比27.1%増加、分譲は382戸で前年比7.7%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で3か月連続の増加となり、プレカットも依然堅調である
- ・地域別では広島市が着工戸数1,041戸で19.0%増加、福山市が377戸で23.6%増加、東広島市は121戸で27.4%増加、廿日市市は67戸で17.5%増加となった一方、呉市は58戸で59.4%減少、尾道市は55戸で17.9%減少と地域ごとにばらつきがある結果となった
- ・全国傾向とは異なり、広島県内は依然高水準で推移しており、非住宅分野への期待も高まっているが、将来、住宅は減少が予想され、先行き不安の声も強い
- ・経営規模や業態によって景況感に偏りがある聞取り結果となっており、中小会員の経営環境は依然厳しく、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある

### 印刷

#### ●出版・印刷・同関連

##### 広島県印刷工業組合

後継者不足が原因で、組合員が減少。景況は前月と変わりなく横ばい状態である。

### 化学・ゴム

#### ●工業用ゴム製品

##### 中国ゴム工業協同組合

先月に比べて大きな変化は見られない。

安全・品質について、悪いデータから目を逸らしていないか、隠していないかなど、判断を正しく行わなければならない。

2020年東京オリンピックまでは日本市場は好況が続くそうである。

#### ●プラスチック製品製造業

##### 広島県プラスチック工業会

売上、設備操業度は全体的に各社横ばいで推移している。

自動車関連も同様に、先月に引き続き、設備操業度は横ばい傾向にある。  
低金利と円安傾向の定着が企業収益の支えとなり、継続が期待される。

## 窯業・土石製品

### ●窯業・土石製品

#### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年12月 3,182m<sup>3</sup> (対前年比4.67%減少)

29年11月 3,283m<sup>3</sup>

28年12月 3,338m<sup>3</sup>

## 一般機器

### ●一般機械器具

#### 協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機及びタービン・コンプレッサーの操業は前月同様で、それに伴い協力会社各社は定時操業となっている。

#### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、国内外ともに旺盛な需要がある工作機械業界の過去最高の受注状況を受け、対前年同月比15.0%増加となったが、前月はスポットによる高水準の受注があったことから、前月比では8.0%減少となった。

## 電気機器

### ●電気機械器具

#### 広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、対前年同月比4.5%増加、前月比5.2%減少となった。国内売上は前年同月比、前月比ともに減少した。輸出で国内をカバーしている状態であるが、前月比では減少となった。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。

## 輸送用機器

### ●輸送用機械器具（自動車）

#### 東友会協同組合

- ・組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持
- ・12月の国内自動車販売台数は全需が394千台、前年同月比0.8%減少と3ヶ月連続の前年割れ。登録車も前年比1.0%減少と3ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は0.5%減少と9ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は49.5%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・アメリカの11月の全需は1,398千台で前年同月比1.3%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同2.6%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の11月の全需は1,469千台で、前年同月比4.1%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車も同13.1%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・中国の11月の全需は3,134千台で、前年同月比5.8%増加。マツダ車も同11.0%増加と10ヶ月連続の前年超え
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の11月の海外販売合計台数は122千台、前年同月比8.7%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの11月の輸出動向については、輸出台数は前年比2.1%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・マツダの11月の国内生産台数は、前年同月比0.2%減少と2ヶ月振りの前年割れ

#### 輸送用機械器具（造船）

## ●中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年12月の船舶建造許可実績は3隻184,750総トン(前月3隻188,400総トン、前年同月3隻76,399総トン)であった。なお、全てが貨物船でこのうち国内船が1隻、輸出船が2隻となっている。

### (社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

## その他

### ●家具・装備品

#### 広島家具工業協同組合

リビング、ダイニング、ベッド関係は横ばい、コントラクト(ホテル関係)は堅調に推移している。

東京で開催されたIFFT(組合員1社参加)は来場者が減少。ジャパンホームショー(組合員2社参加)は従来の建築関係企業に加えてインテリア関係企業が出展したこともあり、来場者が増加し、今後も期待が持てる。家具については、展示の方法等見せ方の工夫が必要であるとの話を聞いている。

## 卸売業

### ●卸売業(総合)

#### 協同組合広島総合卸センター

中小卸売業者は、大規模店舗の出店や、販売先小売店の閉店の他、大手卸売業者の寡占化等により厳しい状況が続いている。

「資材関連」においては、公共工事は件数・請負金額共に増加傾向。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦、前年割れが続いている。

「食品」においては、大手問屋の攻勢激化により採算低下を招いている。

「繊維」においては、業績不振から自主廃業を検討している組合員がいる。

「資材」においては、従業員を募集しても応募がない。

### ●卸売業(電設資材)

#### 広島県電設資材卸業協同組合

広島県の10月の住宅着工状況は、前年比35%増加、そのうち持家は3.6%減少、分譲は31.2%増加、貸家は33.2%増加と、分譲マンション、貸家は増加傾向にあるが、持家は減少している。

民・官ともに見積件数は増加しており、2018年は消費税増税前の駆け込み需要があるのではないかと推測している。

### ●卸売業(家具)

#### リビズ株式会社

12月末で廃業により1社脱退した。

### ●卸売業(畳・敷物)

#### 広島県畳製品商業協同組合

10月から新物に徐々に替わり、本格的に動き始め、びんご特選畳表は対前年比8%増加となった。しかし、JAS畳表は対前年比22.4%減少と若干落ち込んだ。

価格は原料価格の上昇に伴い高値で推移した。

## 小売業

### ●各種商品小売業

#### 協同組合三次ショッピングセンター

前年よりイベントを増やしたことにより、客数、売上ともに増加した。

## チェーンリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

組合員が減少したことに伴い売上が減少した。また、天候不良による野菜の相場高により、収益状況は悪化している。

### ●家庭用電気機械器具小売

#### 広島県電器商業組合

12月度の販売実績は前年同月比0.7%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比15.3%減少、冷蔵庫同4.3%増加、洗濯機同1.2%減少、IHクッキングヒーター同7.6%減少、エアコン同1.2%増加となった。

### ●その他の小売業（燃料）

#### 広島県石油商業組合

依然として原油価格が高値で推移しており、石油販売業者の仕入れコストは微増である。

今冬は、早めに雪がちらついたためか、冬用タイヤへの交換依頼や灯油需要の増える時期が早くなり、店頭が活気づいているように見受けられる。ただし、地区によっては相変わらず価格競争が続いており、経営改善にはつながっていない。

## 商店街

### ●商店街（各種商品小売業）

#### 呉本通商店街振興組合

一昨年末に閉店したカレー店の跡地にパン屋の出店が決まった。本社は東京で、開店は2月を予定している。

## サービス業

### ●自動車整備業

#### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比15.1%減少、前年同月比2.4%減少。車検場収入は前月比15.8%減少、前年同月比1.9%減少。重量税・登録印紙は前月比17.05%減少、前年比1.2%減少となっている。

### ●広告業

#### 広島県広告美術協同組合連合会

組合員の高齢化による脱退及び廃業が4社あり、後継者不足が深刻な問題である。それに伴い組合員減少も喫緊の課題である。

## 建設業

### ●工事業

#### 広島県室内装飾事業協同組合

1月～3月の完成物件は昨年並みかやや増加傾向にあり、年度末需要が期待できそうである。

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目ではカーテンの売上は増加したが、敷物、壁装クロスの売上が低調で、3品目合計で前月比33.2%減少、前年同月比5.8%減少し、累計前年比でも18.7%減少と依然低調である。工期がタイトで人手不足も重なり、組合員は総じて忙しい状況である。

#### 福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比38.6%増加、前年同月比77.8%増加となった。

昨年4月1日から太陽光発電10KW未満も含め「改正FIT法」（“発電設備を認定”する方式から“発電事業を認定”する方式）に変更となった。このため発電事業計画の提出期限が12月末まで（ただし、中国電力(株)は12月15日まで）としたため、太陽光発電設備の申請が12月上旬に集中した。特に、備後地方は日照時間が長く、晴天の気象条件が良いことから太陽光発電の設置件数も多くなっている。

#### 神辺建設業協同組合

公共事業の発注は、年度予算の関係で短工期の工事や維持管理メンテナンスを中心とした案件が多く、年度をまたいだ主力工事が少ないため、中小企業各社は民間工事にシフトしている。

## **運輸業**

### **●道路貨物運送業**

#### **広島輸送ターミナル協同組合**

ドライバー不足による車輛の減少と拘束時間の問題で、荷物が受けきれない状況である。

運賃は改善されてきているが、燃料価格や下請事業者に支払う運賃の上昇幅には追いつかず、収益状況は改善していない。

#### **松永地区トラック事業協同組合**

毎月の貨物輸送量は、月初から中旬にかけて多く、月末になるにつれて下降線をたどっている。12月も同様に月初は荷動きが激しかったので、このまま月末まで続けばと期待したが、やはり中旬以降は月並みの荷動きに落ち着いたようである。結果的に売上高は前月から大きな変化はなかった。

軽油価格が9月頃から上昇し、現在も高止まりしており、収益を圧迫している。主要産油国による調整減産が原油価格を押し上げているようで、今後の予想では2018年も高値が続く可能性が高いと言われており、先行きを非常に心配している。

#### **協同組合尾道地区総合トラックセンター**

12月の荷動きは、前月比、前年同月比ともに増加した。年末需要が要因であると思われる。

しかし、3ヶ月連続の燃料価格の上昇となり今後も値上げが予想されており、収益状況の悪化が懸念される。

### **●水運業**

#### **全国内航タンカー海運組合中国支部**

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

## **その他**

### **●不動産業**

#### **広島県不動産評価システム協同組合**

前月比変化なし。前年同月比は、前年に固定資産標準宅地評価の部分払いの入金があったが、今年はその評価入金がないため、売上高等が減少・悪化している。

1月は、公的評価（地価公示、相続路線価評価等）の作業や年度末に向けての一般評価が増加している。